



## 警告のニューズレター「角笛」

発行日：2016年12月発行（第80号）

発行：警告の角笛出版

価格：フリーペーパー

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

### 【目次】

- ◎巻頭メッセージ：「常供のささげものは取り除かれる」 エレミヤ
- ◎時代を悟る「賛美とロック」H.F
- ◎お知らせコーナー「本の紹介」

### [巻頭メッセージ]

#### 「常供のささげものは取り除かれる」 by エレミヤ

本日は、「常供のささげものは取り除かれる」という題でメッセージしたいと思います。終末を預言するダニエル書では、終わりの日に常供のささげものが取り除かれることについて書いてあります。以下の通りです。

ダニエル8:11 軍勢の長にまでのし上がった。それによって、常供のささげ物は取り上げられ、その聖所の基はくつがえされる。

8:12 軍勢は渡され、常供のささげ物に代えてそむきの罪がささげられた。その角は真理を地に投げ捨て、ほしいままにふるまって、それを成し遂げた。

8:13 私は、ひとりの聖なる者が語っているのを聞いた。すると、もうひとりの聖なる者が、その語っている者に言った。「常供のささげ物や、あの荒らす者のするそむきの罪、および、聖所と軍勢が踏みにじられるという

幻は、いつまでのことだろう。」

本日はこれらの箇所の意味合いを見ていきたいと思えます。

#### <常供のささげ物とは何か？>

そもそも聖書でいう常供のささげ物とは何を意味するものなのでしょうか？

このことばが使われている聖書箇所を見ていくとき、その意味合いも見えてくるでしょう。たとえば、以下です。

民数記4:16 祭司アロンの子エルアザルの責任は、ともしび用の油、かおりの高い香、常供の穀物のささげ物、そそぎの油についてであり、幕屋全体とその中にあるすべての聖なるものと、その用具についての責任である。」

この箇所によるならば、常供のささげものとはすなわち、穀物のささげ物であり、また注ぎの油のささげ物であることがわかるのです。

## 「常供のささげものは取り除かれる」 エレミヤ

民数記28:10 これは、常供の全焼のいけにえとその注ぎのささげ物とに加えられる、安息日ごとの全焼のいけにえである。

この箇所によるなら常供のささげものとは、すなわち、全焼のいけにえであることがわかるのです。

### <常供のささげものは現在はまだ存在しない>

このように、常供のささげものとはすなわち穀物のささげものや、注ぎの油さらに全焼のいけにえであることがわかりました。しかし、これを終末の日にそのまま適用するなら問題があります。何が問題かという、このことです。そもそも終末である現在においては、かつての神殿は存在しません。またそうであるがゆえに、神殿でささげられるべき穀物や、油さらに全焼のいけにえはもうささげられていないからです。

財布に入っていない一万円札を盗むことは不可能です。同じくささげられていない常供のささげものを中止することは不可能です。したがって、「常供のささげものがとりあげられる」とのことばを現代において文字通りに解釈するのは、矛盾があります。したがってこのことにはたとえの意味合いがあるように思われます。

### <主はたとえの理解を語られた>

私たちの主はみことばの理解に関連してたとえの理解に関して語りました。また、たとえを理解しない、できない弟子たちを叱責されました。以下のとおりです。

マルコ 4:13 そして彼らにこう言われた。  
「このたとえがわからないのですか。そんなことで、いったいどうしてたとえの理解ができましょう。」

また、以下の箇所では主が語られた全てのことばはたとえであることも語られています。

マルコ 4:33 イエスは、このように多くのたとえで、彼らの聞く力に応じて、みことばを話された。

4:34 たとえによらないで話されることはなかった。ただ、ご自分の弟子たちにだけは、すべてのことを解き明かされた。

主のすべてのことばはたとえなのです。そして聖書全巻は主イエスを証しするものなので、聖書のあらゆる箇所です。したがって、このダニエル書の箇所も、たとえを理解することが必要と思えます。

### <第3神殿が再建される可能性は0%>

主イエスのことばに逆らって何が何でもたとえを理解しない解釈者もキリスト教会には、存在します。彼らの言い分によるなら、これから第3神殿が再建され、その後、常供のささげものが復活するそうです。なんとも気の長い話です。しかし、常識的に考えるなら、エルサレムに再度神殿が再建される可能性はゼロであると思えます。

その理由はこうです。聖書によるなら、エルサレムの神殿はどこに建ててもよい、というのではなく、建てるべき場所は、決まっています。それは、モリヤの山の上です。そして、そこには、もうすでにイスラム教の黄金ドームが建っているのです。ここは、イスラム教の3大聖地の一つなので、この寺院が移転することなどありえないのです。彼らにこの場所を移転しろ、ということは、たとえば、日本人に対して、

「皇居を移転して更地にしろ、その場所にデイズニランドを建てる予定だから」というようなもので、とんでもない侮辱の要求であり、誰一人受入れるはずのない話なのです。

## 「常供のささげものは取り除かれる」 エレミヤ

この様に第3神殿の建設ということは現実的にはありえない話なのです。私たちはこのことのとたとえの意味合いを見ていくべきと思われます。

### <常供のささげもののとたとえの意味合い>

常供のささげもののとたとえの意味合いは何でしょうか？たとえば、常供のささげものである穀物のささげものの意味合いは何でしょうか？

私の理解ではこうです。穀物のささげものとは具体的には麦をささげることであり、それは、パン、すなわち、みことばや、メッセージと関連するたとえです。同じく注ぎの油は、神の油、すなわち、聖霊と関係することがらであり、たとえです。また、全焼のいけにえとは、神の火である聖霊により肉を焼き尽くされたクリスチャンの奉仕をあらわすたとえと理解できます。

### <毎週の礼拝メッセージが取り除かれる>

このささげものに関してダニエル書11章では、毎日のささげもの (daily sacrifice) として、毎日、毎週、定期的にささげられるものであることが強調されています。以下の通りです。

ダニエル 11:31 彼の軍隊は立ち上がり、聖所ととりでを汚し、常供のささげ物(daily sacrifice) を取り除き、荒らす忌むべきものを据える。

毎日また毎週のように神の前にささげられる穀物のささげものとは何を意味するのでしょうか？私の理解では、その意味合いは、教会で毎週のようにささげられている神へのパンのささげもの、すなわち、礼拝のみことばのメッセージのとたとえと理解できます。

ですから、「常供のささげ物が取り除かれる」というとき、教会が地上に存在しなくなることの意味しているわけではないのです。また、クリスチャンが全世界から消えうせることを語っているのではないのです。しかし、教会の礼拝でもっとも大事なこと、神のことばに沿った正しい礼拝メッセージは教会から消えうせ、取り除かれるようになるのです。具体的には、獣の国の支配の下で、教会で語られるメッセージに対して、検閲や制限が加えられ、正しいメッセージは取り除かれ、除外されるようになるのでしょうか。別のことばで言えば、イエス以外に救いはないとか、同性愛は神が禁じているなどの正しいメッセージに対して、検閲がかかり、ストップがかかるようになるのでしょうか。

### <すでに教会メッセージに対して干渉が始まっている>

教会のメッセージに対してアメリカの国が干渉したり、制限を加えるようになる、といえば、そんなはずはない、という意見があるかもしれませんが、しかし、このことは、実はもうすでにアメリカで起きつつあることなのです。



常供のささげもの

## 「常供のささげものは取り除かれる」 エレミヤ

今年アメリカでは注目すべき事件が起こりました。それは、ジョージア州のセブンスデーアドベンチストの牧師Dr. Eric Walshがその礼拝メッセージの内容や、ノート、メモ、聖書の書き込みなどの内容を提出するよう、ジョージア州から要求される、という事件が起きたのです。

彼は州の健康アドバイザーとして雇われていたのですが、彼が週末に聖書のメッセージを行っていたことを理由として解雇されました。そのことに関する訴訟の中で、ジョージア州はこの要求を行ったのです。しかし、教会や、牧師の説教メッセージの内容に関して国や州が干渉するということはかつてなかったことなのです。この事件を通してアメリカという国や、その州がキリスト教会の牧師がどのような内容のメッセージを行っているのかということに興味を持っていることがわかりました。さらに彼らはできれば、メッセージの内容を検閲したいと思っていることが理解できました。

アメリカにおいては、すでに同性愛に反対するクリスチャンが逮捕されたり、路上で路傍伝道する牧師が逮捕されたりしています。彼らが教会のメッセージを検閲するようになれば、同性愛に反対するようなメッセージに対して、禁止したり、罰するようになることは明らかです。

ですので、ダニエル書で預言されている未来、すなわち常供のささげものである教会の毎週のメッセージが獣の国において検閲され、制限され、禁止されるようになることは、今まさに実現しつつあるのです。

＜どのような日が来ようとしているのか＞

さて、常供のささげものが取り除かれる日とは具体的にはどのような日なのでしょう？ 上記、ダニエル8章のことばから見ていきましょう。

”ダニエル8:9 そのうちの一本の角から、また一本の小さな角（強い角：70人訳）が芽を出して、南と、東と、麗しい国とに向かって、非常に大きくなっていった。”

ここでは、常供のささげものが取り除かれることに関連してまず、一本の強い角に関して語られています。ですので、終末の日に教会から正しいメッセージが取り除かれるその最大の原因、理由は、この終末の獣の国、すなわち、アメリカの横暴に原因があるのです。

8:10 それは大きくなって、天の軍勢に達し、星の軍勢のうちの幾つかを地に落として、これを踏みにじり、

この獣の国アメリカの権力はさらに強大なものとなり、ついには、天の軍勢すなわち、天的なクリスチャンに対して影響を与えるようになります。その結果彼らは地に落とされ、この世的なものとなります。結果、クリスチャンは、離婚はOK、中絶もOK、同性愛もOKというこの世の人と変らない、道徳観に変えられていきます。

8:11 軍勢の長にまでのし上がった。それによって、常供のささげ物は取り上げられ、その聖所の基はくつがえされる。

軍勢の長とは、神の軍隊であるキリスト教会の頭、トップを表します。教会のトップ、頭というまでもなくキリストです。しかし、この日、獣の国アメリカの強権の下で、教会に圧力がかかり、キリストが追い出され、反キリストが教会のトップに据えられます。

そして、それとともに「常供のささげ物は取り上げられ」ます。すなわち、「キリスト以外に救いはない」などの正しいメッセージはもう教会では語られなくなるようになります。 「その聖所（神殿）の基はくつがえされる。」とはキリスト教会の土台が覆され、ひっくりかえされることを語ります。

## 「常供のささげものは取り除かれる」 エレミヤ

「キリストは神」「救いはキリストから来る」「十字架により罪が許される」というような重大な教理がみな、教会から追放されるようになるのでしょう。

8:12 軍勢は渡され、常供のささげ物に代えてそむきの罪がささげられた。その角は真理を地に投げ捨て、ほしいままにふるまって、それを成し遂げた。

「常供のささげ物に代えてそむきの罪がささげられた」とは、すなわち、神の前にささげられた正しいメッセージの代わりに、神へのそむきの罪のメッセージが教会内で語られるようになることを示します。すなわち、「キリストは神でない」「十字架により罪が許されることなどない」「地獄も裁きも存在しない」などの神の前には、罪としかいえないメッセージが教会で語られるようになるのです。

「その角は真理を地に投げ捨て」とは、聖書の真理、神の前に正しい真理は、獣の国の強権の下で、追放され、虚偽であると語られるようになることをさすと思えます。

「聖書は神のことば」であるという真理も投げ捨てられ聖書は誤りの多い本である、と偽りが広げられるようになるのでしょう。

ダニエル 1 1 章からも見てみましょう。

ダニエル 11:30 キティムの船が彼に立ち向かって来るので、彼は落胆して引き返し、聖なる契約にいきりたち、ほしいままにふるまう。彼は帰って行って、その聖なる契約を捨てた者たちを重く取り立てるようになる。

この箇所はかつての日、アンティオコス・エピファネスを通してすでに実現しました。しかし、それは、また終末の日に再現することがらとも理解できます。

終末の日においても、反キリストは、「聖なる契約」すなわち、クリスチャンとキリストとの間に交わされた永遠の命の契約にいき

りたち、それを解消、消滅すべく働くでしょう。また、「聖なる契約を捨てた者たちを重く取り立てるようになる。」とのことばどおり、キリストとの契約を捨て、長子の特権を売り払ったエサウの様な俗悪なクリスチャンを、教会の高い位置につけるようになるでしょう。

11:31 彼の軍隊は立ち上がり、聖所ととりでを汚し、常供のささげ物を取り除き、荒らす忌むべきものを据える。

その日、反キリストは、聖所（神殿）である聖なる教会を汚し、同性愛容認などの罪の教理を受入れさせるようになるでしょう。そして、常供のささげ物である毎週の正しいメッセージを取り上げ、禁止させます。キリストのみに救いがある、などとの正しいメッセージは取り上げられ、検閲され、禁止されるのです。

キリストは教会から追い出され、そして、その代わりに荒らす忌むべきものである反キリストを教会の神として立てるようになるでしょう。

このような恐るべき未来を聖書は預言します。これらの災いが起きるその理由はみな、教会の背教のゆえであり、私たちの不従順のゆえに許されるのです。歩みをただし、この時代における正しい歩みに入りましょう。

—以上—



ジョージア州からメッセージ内容の提出を要求されたDr. Eric Walsh

時代を見分けなさいと主イエスは言われています。では今はどのような時なのでしょう？

現代は、あちこちで多くの音楽が流れ、音楽は常に身近にあります。クラシック、ロック、ポップス、ヒーリング、ジャズ、ヒップポップ・・・まだまだ数えきれないほどの多くのジャンルがあります。音楽プレーヤーや、スマホなどで各人が気に入った音楽をどこでも聴くことができる時代です。音楽は娯楽として、また癒しとして、重要な位置を占めています。そして1960年代以降、ビートルズをはじめとして、エレキギター、ドラム、などが主流のロック音楽が台頭し、世界的に大きな位置を占めています。多くの人々がロック音楽から多大な影響を受けているのです。

では現在、教会において音楽の状況はどうでしょうか？

CCM(クリスチャン・コンテンポラリー・ミュージック)の賛美、エレキギターやドラムを使いロックで賛美している教会も多くあります。アメリカやオーストラリア発のCCMは人気があり、多くの若者に影響を与えています。また、ローマ法王フランシスコもロックCDをだしています。有名なリック・ウォレンのサドルバック教会も教会ビデオにジョン・レノンの「イマジン」を使用しました。グラミー賞を受賞したCCM歌手カーク・フランクリンは冒流的な内容の作品を作るラッパーのカニエ・ウエストや世俗的ミュージシャンと非常に親しくしています。

この状況はどのようにとらえればいいのでしょうか？

第二コリント6：14～17では「キリストとベリアルに何の調和があるでしょう。信者と不信者とに、何のかかわりがあるでしょう。神に宮と偶像とに何の一致があるでしょう。～それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ。と主は言われる。汚れたものにふれないようにせよ。」とあります。

このように主は、世の汚れたものから分離せよといわれています。しかし現状はというと、教会の音楽は世俗的なものと混ざり合い世と同化しています。

それでもロックの賛美によって、多くの若者が、教会に来てくれるなら良いのでは、と思う人がいるかもしれません。しかしそう考える人は、ロック音楽の成り立ちと背景、背後に働く霊的な危険を知る必要があります。ロックはその成り立ちから、すでに悪魔的な音楽であるのです。そんな馬鹿な、と思われるかもしれませんが、私たちはあまりにもロック音楽に親しんでしまっているのです。

多くのロックの中に組み込まれている悪魔的な歌詞やシグナル。音自体に含まれる、マインドコントロール効果。大音響の中、ドラムの規則正しい反復性のある音が呪術的な音の効果。それらは生体的に恍惚とさせ刺激的であり催眠効果があります。そして

ロックには反抗、暴力、薬物、淫行などを引き起こす力が潜んでいます。

またビートルズは世界的にも、教会にも多大な影響を与えています。サドルバック教会がビートルズのジョン・レノンの「イマジン」を使用したことを前述しましたが、これはニューエイジ的な曲です。レノンは聖書もイエスも信じていないと語っています。ジョージ・ハリスンは、ヒンズー教を受け入れていました。メンバーは、ニューエイジ的な働きを進めました。ビートルズは人々にキリストを受け入れないようにさせる働きを担っているのです。

また、ケイティ・ペリーや有名バンドU2のボノは悪魔礼拝者であると語りました。これは一例にすぎません。

多くのロックバンドは、歌詞の中でも音楽映像の中でもシンボリックに悪魔を表現しています。恐ろしいことですが世的に成功したミュージシャンの多くは、反キリスト的であり、この世を支配しているサタンを賛美しているのです。音楽ビデオなどよくよく注意して見ると、多くのロックミュージシャンは、サタニストのシンボルやサインを行っていることが見受けられます。

そして知らないうちに、私たちはロックから影響を受け、聖霊ではなく違う霊の影響を受けているのです。また、多くのCCM歌手がビートルズをはじめとした世のロックバンドを尊敬し、影響を受けていることを語っています。彼らも聖霊ではない霊の影響を受けています。そのためCCMの歌詞の中には、福音とは違う異端的な内容が含まれることが多々あります。

ロック自体がもともと神に反抗的な物として作られているのを知する必要があります。ロックの賛美、それは聖くない、汚れたささげ物であり、教会の賛美にロックを用いること自体、神様の怒りを引き起こすものだと思えるべきではないでしょうか。

アモス5：21～23私はあなた方の祭りを憎み、退ける。あなたがたのきよめの集会のときのかおりも、わたしはかぎたくない。たとい、あなたが全焼のいけにえや穀物のささげものをわたしにささげても、わたしはこれらを喜ばない。あなたがたの肥えた家畜のいけにえにも、目もくれない。あなたがたの歌の騒ぎを、わたしから遠ざけよ。わたしはあなたがたの、琴の音を聞きたくない。

汚れた賛美、ささげ物はもうたくさんだと主は言われています。主が忌み嫌うものをささげているということは恐ろしいことです。賛美においても、いたるところにサタンの罫が潜んでいます。今はそのような時代です。「目を覚ましていなさい」と主が語られたように各人が今の時代を悟り、見極め、目を覚まさねばなりません。



ビートルズ

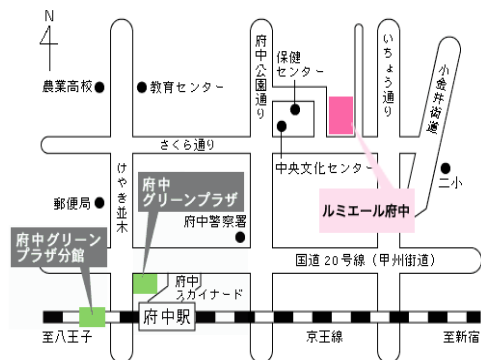
●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



● 定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。  
 ● 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255  
 ● mail:truth216@nifty.com

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30  
 午後 14:00-16:00  
 場所:東京都京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館  
 (tel:042-360-3311)  
 1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、  
 「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。  
 どなたでも来会歓迎、入場無料です。



礼拝場所のURL: [http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map\\_02.html](http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html)

★教会のHPもあります。  
 ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。  
 尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>